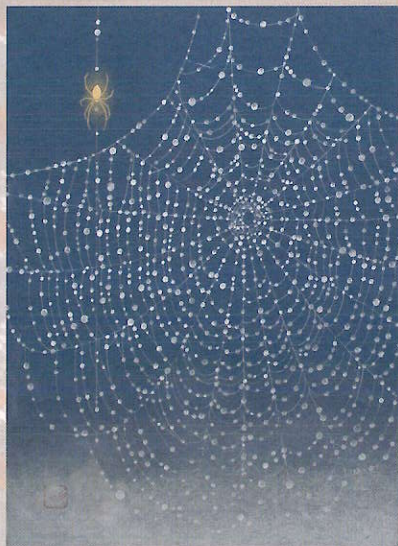


色とかたちの物語



野口清一月 雨の贈り物 2026年 藍染和紙、金泥、銀泥、他

藍染の和紙？
きれい！

蝶の木版画
標本 新部公亮
版画 廣田日出樹



おおッ
ひと味ちがうぞ
この標本

虫が彩る

え？
虫由来の染料を
使ってる？

2026 8/7 金 ▶ 9/27 日

開館時間 9時00分～16時30分(入園は16時00分まで)
休園日 毎週月曜日(祝日の場合開館)、祝日の翌日
8月10日・12日・17日・24日・31日、9月7日・14日・24日
入館料 一般200円(160円)、大高生150円(120円)

* () 内は20名以上の団体割引料金

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、
および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります。

後援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、
毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J:COM、FM GUNMA、
ラジオ高崎

主催 高崎市染料植物園 (tel 027-328-6808)

ゴ(男性)の衣装 絹、ラックほか
ブータン王国 ラティ地方



Takasaki City Dye Plant Botanical Garden
高崎市染料植物園

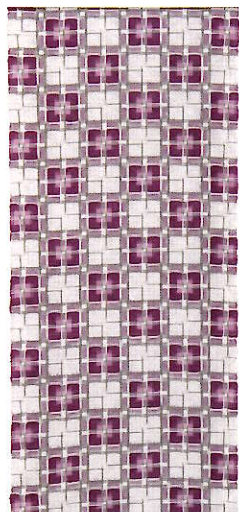


虫が彩る 表現の世界

夏休みになると、虫網を持った子どもたちを染料植物園でも見かけます。夏休みは昆虫だ！そんな思いを叶えるべく、いつもとは異なる視点から“虫”を楽しんでもらおうと思います。

ここ観音山丘陵には、多くの虫たちが生きています。本展覧会では、観音山に生息する昆虫などを描いた鉛筆画や、コチニールやラック、五倍子のように虫が持つ色素や分泌する成分を染料として用いた天然染織品、天然染料で染めた和紙に昆虫の姿を描いた日本画などとともに、画期的な昆虫標本もご紹介いたします。標本は、いつ、どこに、どんな昆虫がいたのかを記録するタイムカプセルです。ご紹介する昆虫標本は、自然科学の視点にとらわれず、人文的な視野をもつて作製し、昆虫の新たな魅力を発見する、いわば「人文的昆虫標本」ともいうべきもので、近年愛好家の間でも話題となっています。

虫が彩る世界は、興味深く魅力的です。本展覧会で、「虫」を見つめる人間の豊かな表現を見ていただき、虫と染織文化、虫と文化芸術という視点から、昆虫に彩られた表現の世界を楽しんでほしいと思います。



岡田敦子《経緯緋吉野格子帯地 沈丁花》2018年
五倍子・コチニール



山崎青樹《してこぶし》1971年
コチニールほか

染料《コチニール》



染料《五倍子》
(ヌルデの虫こぶ)



染料《ラック》



山崎青樹《つらつら椿》1968年 ラック



野口満一月《桜餅(長命寺)》2026年
和紙、桜の染料、日本画天然岩絵の具、他



瀧田吉一《クモマツマキチョウ》



瀧田吉一《オオムラサキ》

関連事業

●ムクロジのストラップ プレゼント
1日先着20名 ※中学生以下の入館者限定
会期中 ※なくなり次第終了
ムクロジ(無患子)は無病息災を願うお守りです

●講演会「虫付きことば」のいろいろ
「虫のいい話」「虫の知らせ」など「虫」を使った慣用句をテーマに、標本の制作者が講演します
日時 9月5日(土) 午後1時30分～午後2時30分
講師 新部公亮(マロニエ昆虫館)
会場 染色工芸館3階多目的室
定員 30名(応募多数の場合は抽選)
申込 8月18日(火)までに、メール・往復はがき・ファクスで、講演会名・住所・氏名・電話番号を明記し植物園までお送りください。



日本の蝶切手1



“キバの形”はいろいろ

標本：新部公亮

交通案内

- JR高崎駅下車。市内循環バス「ぐるりん」観音山線で約30分。
- 高崎駅から5.1km、タクシーで約15分。
- 高速道路のご利用は関越自動車道「前橋」「高崎」「高崎玉村スマート」、上信越自動車道「藤岡」「吉井」の各により約30～40分。
- 染料植物園駐車場(170台)のほか、染色工芸館に思いやり駐車場(3台)があります。

「ぐるりん」観音山線 時刻表(高崎駅西口8番のりば)

- 系統番号13 農二・染料植物園コース 「染料植物園入口」で下車
- 系統番号14 片岡・観音山コース



ぐるりん時刻表

高崎市染料植物園

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2302-11 TEL:027-328-6808 FAX:027-328-6818
mail:senryou@city.takasaki.gunma.jp HP:https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/senryou/

